



# 中央ウェイ

## 6月号

### キャリア教育、進路指導

校長 荒川 早月

新型コロナウイルス感染症拡大予防のために発出された緊急事態宣言が、さらに延長されることになりました。一方、大規模会場での高齢者に対するワクチン接種も開始され、今後さらなる接種拡大に期待がもたれます。またオリンピック・パラリンピックの開催も目の前に迫ってきています。これらについては様々な考え方があり、議論が繰り広げられていますが、生徒の皆さんはどのように考えていますか。偏った考え方や一部の強い主張に惑わされることなく、多様な考え方を知り、それらに対し自分はどのように考えるか、根拠を踏まえて自分の言葉で表現できるようになると良いですね。

6月以降も、本校はこれまで通り感染症対策を徹底しながら、時差通学を継続していきます。去年はできなかった学校行事や部活動の大会などは、規模は縮小されますが実施に向けて準備を進めています。6月5日に予定されている体育祭は、保護者の皆様に御来校いただけないことについて、大変申し訳なく思っております。可能な限り集団による密を防ぎ感染症対策を徹底すること、かつ生徒たちがこれまで積み重ねてきた学習の成果を発揮できる場を設けることに注力し、計画を立てました。ICT環境を駆使した取り組みとなります。生徒たちにとって充実した良い学びの機会となる事を期待しています。

本校では、キャリア教育、進路指導の一環として、成人聴覚障害者との交流や大学授業体験、先輩の話を聞く会、大学生講演会・交流会など、様々な活動を行っています。

5月10日には、「自立活動見学会（オンライン）」を4年生対象に行いました。これは、聴覚障害者が社会生活を送る上でどのような工夫や努力をしているかを学び、生徒自らが将来の社会生活の見通しや心構えを持つことを目的に毎年行っています。コロナ禍でなければ、実際の職場にお邪魔し、直接お話を伺ったり、職場の様子を見学したりしています。今年度は、藤岡毅法律事務所にお勤めの弁護士でいらっしゃる松田峻さん、昭和大学病院に薬剤師としてお勤めの早瀬久美さんとオンラインでつなぎ、お話を伺いました。働くということを具体的にイメージできるよい体験になったようです。11月にも社会で活躍する聴覚障害の先輩による講演会を計画しています。

また、6月には5年生対象に「大学授業体験（オンライン）」を実施する予定です。情報保障を活用した大学講義に参加し、大学進学後の学び方について知ることを目的としています。さらに、大学生に対して自分の聴覚障害について語ることで、他者への啓発及び自己認識を深めることなどもねらっています。こちらも、コロナ禍でなければ実際に大学に出かけて、キャンパスの様子を肌で感じるよい機会となります。4年生は冬に行う予定です。（亜細亜大学、立教大学、ルーテル女子大学、昭和女子大学等を予定）さらに、2月には自立活動の時間を通じて、全校生徒を対象に「先輩の話を聞く会」を行います。身近な先輩から後輩に対し様々なアドバイスをいただくことで、自己のこれまでの振り返り、視野を広げ、将来について考える機会を提供しています。8月、12月に行う予定の大学生講演会・交流会も大変よい学びの機会となっています。

このように中央ろう学校では、様々な機会をとらえ、自分自身のこれまでやこれからを深く考えることができるようになるためのキャリア教育、進路指導に力を入れています。